

# 市政を問う!!

## 一般質問の要旨

質問者

- 樋口光久
- 中村 努
- 伊藤秀文
- 野村みなを
- 柴田 博
- 鈴木明子
- 武居博明
- 森川雄三
- 中原巳年男
- 丸山寿子
- 井野兼一

※本文は質問者自身の原稿によるものです

### 景観保全のすすめ方は



◆景観のまちづくりの現状と今後は

問 景観の保全と創造について今後どう進めていくか。また「花のまちづくり」の現状と今後の考え方はどうか。

(丸山)

答 「都市計画マスタープラン」の見直し及び、「緑の基本計画」を今後策定する中で、住民、企業、団体、行政が協働し景観形成に関する計画についても策定していく。平成5年より「花いっぱい運動」を進めてきた。「花のまちづくり」を市民との協働で行っており、花苗等の資材の提供を市が、植え付けや管理を市民に行ってもらっている。今後も一層の推進を図りたい。

問 「残したい塩尻の動植物レッドデータブック」という冊子はとてもよくてきていると感ずる。どのように活用しているか。

(野村)

答 塩尻市の自然の現状の把握と、自然に関する知識を高めるために本年三月に完成した。市内の小中学校、高校、図書館、分館、地区、区等に配布し、概要版については全戸配布した。小中学校や先生の自然環境学習の教材として活用してもらいたい。

◆市民参画と協働のまちづくりについて

問 WG(ワーキンググループ)等の市民参加型システムは、市民提案の位置づけに問題は無いのか。

(中村)

答 WGやシンクタンクの検討内容はストレートに反映が難しい面があるなど、検討課題を改善していきたい。

問 市民全員参画を目指すため積極的に正確でタイムリーな情報発信の提供と体制づくりが必要ではないか。(森川)

答 情報発信について検討を加え、市政に参加しやすい環境づくりに努めてまいりたい。

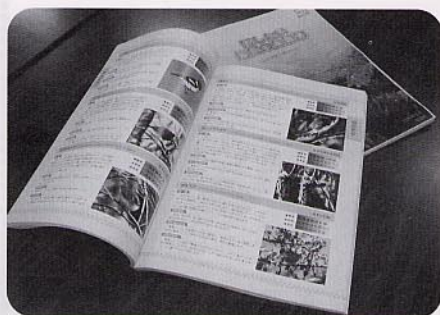
問 職員と市民との信頼関係は失われかけてないか。(森川)

答 現場主義とスピードを大切に市政展開している。市民とは良好な人間関係がより深まっていると感ずている。

問 協働のまちづくりを市民に理解して頂き、協力を頂くうえで、各支所機能の充実を図る必要があるのでは。(森川)



4月からサービスが拡充された吉田支所



塩尻版レッドデータブック



市民参画による「花のまちづくり」(塩尻駅前)